第七回栄区歴史双六探訪 副題 栄地域史蹟探究

栄歴史双六探訪笠間地区行程表

日 時 平成17年5月9日(月) 集 合 バス停笠間十字路 9:50

出発 10:00

- ①新橋地蔵堂・道標 → ②水神祠 → ③起立社御嶽山遥拝所 → ④薬師如来石仏
- → ⑤皇大神宮 → ⑥前立不動 → ⑦笠間山法安寺 → ⑧御蔵坂板碑 -
- ⑨青木神社 → ⑩不動道標 → ⑪上町石仏群 → ⑫塞ノ神・馬頭観音 →
- ⑬笠間中央公園 (昼 食) → ⑭鹿島神社 → ⑮鷹匠橋 → ⑯六地蔵石仏

[一口メモ]

1、新橋(独川)

- ① 延命地蔵尊 造立年 不明
- ② 庚申塔道標 造立年 元禄 4 年 (1691)

刻 銘 従是とつ加道 左とつかミち 従是ぐミやうじ道 右匚じ匚 鎌倉古道は、ここから長光寺の裏山を小菅ヶ谷小学校裏(花立)の尾根道を進み 舞岡公園から日限山地蔵を経て柏尾から鶴ケ峰方面へ続いているが、ここから大道 → 貝殻坂 → 倉田 → 吉田を通って柏尾へ行く道は、北条泰時が仁冶元年 (1240) 巨福呂坂の開発と同時に開発した新道で、(山内道路と称した)経済道路 として利用されたため以後はこちらの道の方が発達した。

2、水神祠

独川が改修される前には、この辺りに笠間堰と飯島堰の二つの堰があって田立と飯島の田圃の灌漑用水を確保していたが、気象情報が未だラフな時代に急に大雨が降った場合には、上流の洪水を回避したり堰を決壊から守るため堰板をはずさなければならないが、大雨の最中濁流と戦い命を落とす人もいた。そうした犠牲者の霊を慰めると共に水神の怒りを静めるために水神様が祀られたと言われています。なお、飯島堰にも水神様があって、飯島の字滝が久保に庚申塔と並んで祀られています。

3、起立社御岳山遥拝所

江戸中期から明治にかけて山岳信仰が盛んに行われ各所に講碑や霊神碑が建てられたが、起立社による遥拝所は栄区内に3ヶ所と承知しています。即ち、笠間、上郷、公田神明社境内です。笠間の小笹医院の先々代、小笹養元さんは起立社の先達さんとして活躍されました。

- ① 長崎大明神の石碑が線刻画になっているのは珍しいとのことです。
- ② 不動尊が伴っている脇侍は制吨迦(セイタカ)童子、衿迦羅(コンカラ)童子と言い、 36童子のうちの2童子ですが、2童子を従えている不動尊は、他に上郷の御嶽神 社、小菅ヶ谷の春日神社、金井の御嶽神社にあります。また、今泉の称名寺(今泉不動)へ行くと36童子全てを従えた大日如来を参拝することができます。

4、神明社下

① 薬師如来はこの他栄区内には次のところにあり、かつては本郷地区内の薬師巡礼 をした人もあったと聞きます。(寅年に七薬師巡りをするとご利益があると言われて いる)

・ 小菅ヶ谷 広地薬師 丸彫石造 ・ 小菅ヶ谷 長光寺 木彫

公田

永林寺 " • 飯島 薬師堂

中野

長慶寺

長沼

正安寺

]]

"

鍛冶ヶ谷 正翁寺 丸彫石造

木彫

5、神明社

伊勢神宮の天照皇大神を祀った神社は「神明社」と言います。

この地には、以前は木造の小さな社があったが、朽ち果てたままになっていたのを 土地の有志が石碑に建替えた。

6、前立不動

この不動尊像は、今泉不動への道標として造立されたもので、このような像を「前立 不動」と言います。供花やお掃除などのお世話は、近所の方がやっておられるとのこと です。

台座に刻銘されている宝永7年(1710)に造立されたオリジナルの不動尊像は、平成 7年に車の接触事故により大破してしまったため新たに作成されたものです。オリジ ナルの石像は、一応修復されて今泉不動に保存されている。

7、法安寺(浄土宗笠間山知光院法安寺)

- ① 創建は、正平2年(1347)ですが戦乱の中にあって廃絶と中興を繰り返してきた波 乱の寺と言われている。笠間は、江戸期に入り寛永4年(1627)上総生実藩森川氏(1 万石)の知行地になって以後は明治維新まで一貫して領主が代わらなかった異色の 土地柄であり、当寺も領主から篤い庇護を受けてきた。寺の什物帳には、森川氏か ら贈られた仏画などの記録があり、また森川氏代々の古い位牌も祀られている。
- ② 仏像 当寺は仏像の多い寺ですが、次のような特色ある仏像があります。
 - ・木彫彩色弁財天 仏法護持の神としての本来のお姿である一面八臂で、8本の 手には弓、矢、斧、戟、剣、輪宝などの武器を持つ戦いの神であ る反面、水を治め福徳をもたらす神として崇められた。
 - ・爪彫り観音石仏 弘法大師が一夜で爪彫りしたという十一面観音石仏(秘仏)で、 この拓本をもとに作られた版画のお札を戴くことができる。

この観音様は、鎌倉郡三十三ヶ所札所の第十五番になってい るが、栄区には他に次の札所がある。

第十六番公田の永林寺(十一面観音) 第十七番上郷の光明寺(正観音) 第二十九番金井の玉泉寺(正観音) 第三十一番飯島の勝福寺観音堂(正観音)

- 六観音坐像 聖観音、千手観音、馬頭観音、十一面観音、准胝観音、如意輪観音
- ・ 十一面観音 舟形光背の台座に四天王と邪気を配した珍しい観音様

- ③ 巡拝供養塔 造立年 文化己巳(つちのとみ)(1809)
 - 刻 銘 種子 キリーク(阿弥陀如来) サ(観音菩薩) サク(勢至菩薩) 奉巡拝 西国、四国、秩父、坂東、百八十八箇處供養塔 日月 清明
- ④ 徳本上人六字名号塔 南無阿弥陀仏の念仏6字を六字名号と言うが、徳本上人が書いた独特のデザインにより刻した名号塔を徳本(上人) 六字名号塔といい、区内には他に小菅ヶ谷大誓寺と和田の 石仏群にあります。

8、御蔵坂

昔年貢米を集める時の倉があったので御蔵坂(おくらざか)と言われている。 石塔と板碑はコンクリートで固定されているので造立年等が確認できない。 近所の青木さんが毎月供養をしている。

9、青木神社

祭 神 手力雄命(タジカラオノミコト) 伊弉諾命(イザナギノミコト) 伊弉冉命(イザナミノミコト) 社 名 青木神社の社名の由来についてはよく判っていない。

湯花神楽 四方に笹竹を立て注連縄を張った結界の中で釜で湯を沸かし、東ねた笹 を湯に浸してお祓いをする。

この神事は、鎌倉の鶴岡八幡宮で初めて行われたと言われており、笠間の鹿島神社、舞岡八幡宮でも行われている

12、裏宿辻

- ① 塞ノ神 以前は1月14日にサイト焼きが行はれていたが、今はこのよう な環境なので危険なのでここでは行われず鹿島神社で行われている。
- ② 馬頭観音 この石仏は新橋のほとり変電所側に立っていたが下水の暗渠工 事の際に石井さんが引き取ってここへお祀りした。石塔が大分傷ん でいるのは、当時悪童たちが石投げの標的にしたためとのことです。

13、笠間中央公園

この地には以前から遺跡があると考えられていたが公園を作る時に本格的な発掘調査が行われた。調査結果の概要はプレートを参照願いたい。

14、鹿島神社

① 祭 神 武甕槌神(タケミカヅチノカミ)

明治時代には1村1社制度により青木神社に合祀されたが、戦後の昭和25年に祖先を大切に思う地域の人々の努力により分離独立することができた。

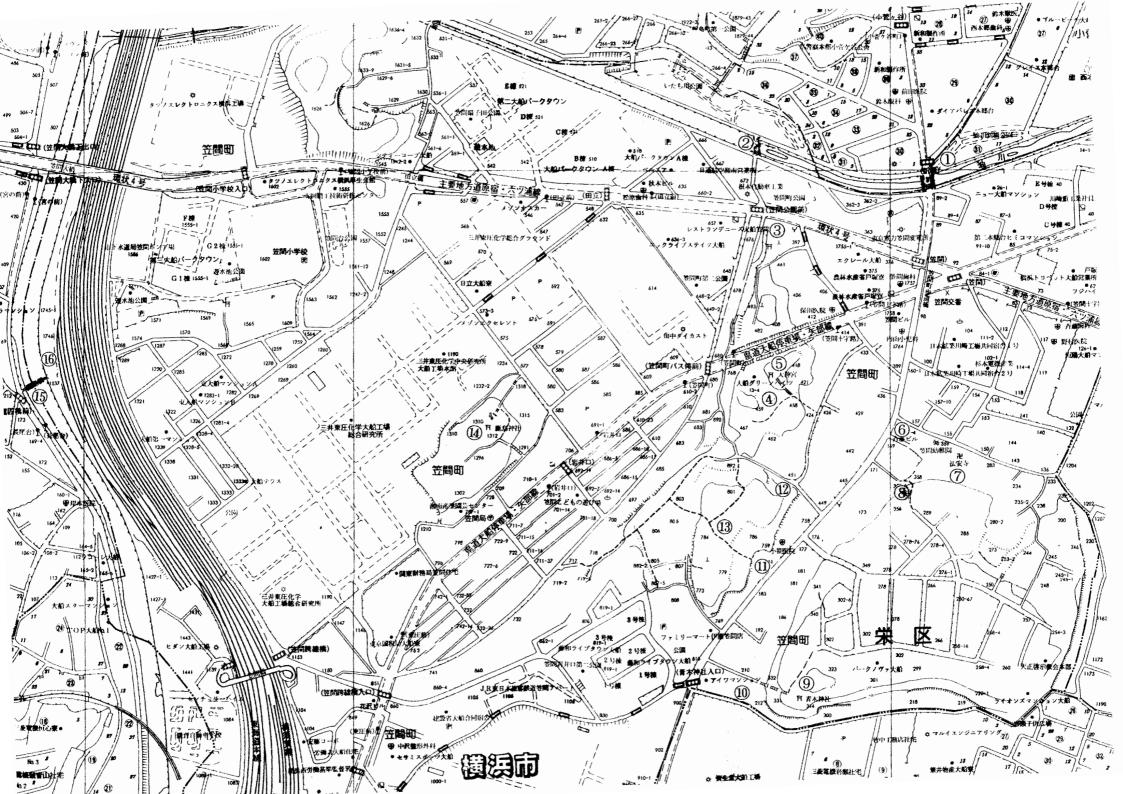
- ② 庚申塔群
 - ・庚申塔(右) 刻 銘 種子 キリーク(阿弥陀如来) サ(観音菩薩) サク(勢至菩薩)
 三 猿 右から 口(雄) 耳(雌) 目(雄)
 この三猿は雌雄の別が明確に刻まれた珍しいものです。
 - ・ " (中) 刻 銘 種子(キリーク) 阿弥陀如来像(來迎相) 庚申塔は、青面金剛を主尊とするものが多いが、ここの 二体は阿弥陀如来である。
- ③ 手洗鉢 二百七十年前に作られた古いもので、刻まれた11人の奉納者の 名前は、現在田立に存在する旧家の苗字に当てはめることができる。

15、鷹匠橋

- ① 橋 名 江戸城が完成するまで藤沢にいた徳川家康は、今の栄区周辺にしばしば鷹狩に来たそうで、小菅ヶ谷の長光寺や長慶寺にも逸話が残っているが、この柏尾川辺りに来たときは、見通しが良いこの橋の上で鷹匠が控えていたのでこの名が付いたとか、この辺りに鷹匠が住んでいたからとか言われている。
- ② 交通の便 地図で見ないと分かりにくいが、この橋の位置は田立の村道の 延長線上にあり、長尾台へ行くための橋として利用されていた。 鉄道の踏切は戦後少しの間までは無人踏切があった。ぐるぐる橋 の所には有人踏切があった。

16、六地藏

柏尾川を三途の川に見たてて、早世した子ども達の供養をするためにお地蔵様(子どもを守る仏様)を祀ったものと思われる。護岸が改修されるまでは川原にあったものを現在の場所に移した。



鎌倉郡三十三札所

江戸時代中期

吉原 勉『鎌倉郡三十三か所の観音を尋ねて』(昭和49年)より作成

, ,	札所	所在地	札所本尊	御身	本尊保管寺院
笛 1来	新海水 寺	鎌倉市雪ノ下	聖観音坐像(能)	8尺	大概音寺(聖観音宗、日本編人形町)
第 2番		鎌倉市扇ガ谷	聖観音	1寸8分	不明
第 3番				8寸	
		鎌倉市扇ガ谷	聖観音		寿福寺(輸館館話)
第 4番		鎌倉市扇ガ谷	観音坐像	6寸2分	海蔵寺(臨鴻建長寺派)
第 5番		逗子市小坪	聖観音(経験)	1尺5寸	正覚寺(社宗)
	報身院	逗子市小坪	聖観音坐像(없雛)	1尺余	小坪寺(斛宗)
第 7番		逗子市小坪	十一面観音立像	1尺6寸5分	
第 8番		鎌倉市西御門	如意輪観音(促變作)	2尺5寸余	来迎寺(粽)
<u> </u>	建長寺 飛石山	鎌倉市山ノ内	聖観音坐像(鉄幣)	2尺5寸	建長寺(聯雜長報)
	建長寺 千手堂	鎌倉市山ノ内	千手観音坐像(嘘冰)	5尺	建長寺(麟雜長報)
第11番	松関山(東慶寺)	鎌倉市山ノ内	聖観音立像(陳原)	4尺	東慶寺(臨紹門第4系)
第12番	円覚寺	鎌倉市山ノ内	聖観音坐像(都作)	2尺2寸5分	円覚寺仏日庵(臨済宗円覚寺派)
第13番	かめい堂	鎌倉市台	聖観音立像(明新)	1尺5寸	市場公会堂(輸給)
第14番	岡の堂	鎌倉市大船	観音立像(延騰)	1尺5寸	多聞院(顛款遺報)
第15番	法安寺	栄区笠間	十一面石観音(礎)	9寸	法安寺(社宗)
第16番	こまかた皇	栄区公田町	十一面観音立像(促發性)	1尺3寸	永林寺(龍)
第17番	坂中寺	栄区上郷町	聖観音立像(睫冰)	3尺3寸	光明寺(社脈林脈)
第18番	净念寺	港南区野庭町	如意輪観音(疑點)	1寸2分	净念寺(附宗)
第19番	桜堂	戸塚区舞岡町	十一面観音立像(缸跡)	5尺1寸	長福寺(騰納)(詩)
第20番	円福寺	戸塚区舞岡町	十一面観音立像(硫冰)	6寸	円福寺(計宗)
第21番	さそり堂	戸塚区上 倉 田	千手観音立像(硫鞣)	5寸	蔵田寺(斛宗)
第22番	朝日堂	戸塚区戸塚町	千手観音坐像(硅駄/作)	6寸	清源院(社宗)
第23番	観音寺	泉区新橋町	聖観音(新鮮)	2尺6寸6分	観音寺(齲除)
and the same			十一面観音(磁肽師)	8寸4分	
第24番	大石寺観音堂	泉区上飯田町	十一面観音立像(龂鲱)	1尺4寸5分	大石寺観音堂(駐)
第25番	正法寺	泉区和泉町	十一面観音坐像(龂貅)	1尺2寸	正法寺(計宗)
第26番	中田寺いなばどう	泉区中田町	十一面観音立像(随)	3寸5分	中田寺(削宗)
第27番	蓮花寺	戸塚区汲沢	十一面観音坐像(品號作)	5寸7分	宝寿院(真試動脈)
第28番	浅間堂	戸塚区原宿	十一面観音立像(硫冰)	1尺1寸	大運寺(計場)
第29番	玉泉寺	栄区金井町	聖観音立像(脈脈)	1尺1寸5分	
第30番	大雲庵	栄区田谷町	十一面観音並(促動子)		燈明寺(麟細饋脈)
第31番	正福寺	栄区飯島町	聖観音立像(觚)	1尺1寸	勝福寺(鮭)
-	仁伝寺	藤沢市渡内	聖観音坐像(証験作)	1尺5寸	二伝寺(社宗)
-	慈眼寺	藤沢市渡内	十一面観音立像(紙幣)	 	慈眼寺(龍粽)